

- ◆企画名 2022年度関西大学ピア・コミュニティ活動報告会
 日程 2023年2月16日(木) 12:30~16:50
 場所 千里山キャンパス第2学舎BIGホール100
 参加者数 72名(ピア・サポータ16名、研修生7名、シニア・サポータ2名、
 TA4名、他大学学生・教職員32名、本学教職員11名)

目的

- ・2022年度の活動を振り返り、反省等を共有することで今後の活動に生かす。
- ・他コミュニティの活動状況を把握し、ピア・サポータ、研修生同士の交流を深める。
- ・他大学との交流や他大学の活動の報告を聞くことで、新たな気づきや発見を得て、ピア・サポート活動の在り方を改めて見つめ直す。
- ・様々な大学との交流を通して、大学の枠組みを越えたつながりを形成する。

内容

開会(12:30~12:40)

- ・代表学生挨拶
- ・学生センター副所長のご挨拶

スケジュール説明(12:40~12:45)

第1部(12:45~14:45)

- ・関西大学活動報告(12:45~)
 発表順:運営本部→KUコアラ→KUSP→KUブリッジ
- ・他大学活動報告(13:45~)

発表順:大阪経済大学→京都産業大学→神戸学院大学→北星学園大学

第2部(14:55~15:55)

- ・他大学交流会
 始めと終わりの挨拶
 前半(4、5月向け企画作り)
 後半(企画の広報について)
 発表

学生センター副所長のご挨拶(15:55~16:00)

閉会(16:05)

キャンパスツアー(16:10~16:50)



効果

- 全体
 - ・他コミュニティと協力したことで、イベントの運営を円滑に行うことができた。
 - ・準備期間を通して、コミュニティ同士の親睦を深めることができた。
- 活動報告
 - ・他大学の活動の魅力を知り、今後のピア・コミュニティでの活動の参考になった。
- 他大学交流会
 - ・コミュニティ間、大学間の枠組みを越えて、互いの親睦を深めることができた。

改善点

- 全体
 - ・受付が混雑した。
 →受付人員を増やす。
 - ・遅刻等の影響で開始時刻が遅れた。
 →事前にタイムキーパーを決定しておく。
 →アナウンスで5分前に座席に着席するように周知する。
 →今後は集合・受付時刻と開始時刻を15分から30分ほどずらして余裕を持たせる。
- 活動報告
 - ・他大学活動報告の時間が25分延びてしまった。
 →質疑応答の人数制限を検討する。
 →時間が押してしまった場合に備えたスケジュールを組む。
 →次の発表者の待機場所を決め、報告を円滑に行えるようにする。
 →開催時間自体を再考する。

- ・活動報告の内容を振り返る機会がない。
→活動報告会資料を事前に配布する。
 - ・スライドのデザインをもっと見やすくする。
→他大学の発表のように、表や写真を入れて内容を充実させる。
 - ・質問者にマイクを渡す役割を決めていなかった。
→運営本部でサポート係（マイクの受け渡し、機材の管理等）を決めておく。
 - ・活動報告の発表資料の一部を事前に受け取らなかったために、報告会のスケジュールにタイムロスが生じた。
→事前に資料を送ってもらえるように資料の締切日を設定し、締切日の3日前と前日にメールで催促する。
 - ・関西大学のピア・サポート活動の概要や体系について説明をしなかった。
→運営本部が代表して関西大学ピア・コミュニティの説明を行う。
 - ・当日、他大学からの持ち込みパソコンが HDMI、RGB 接続ができないものだった。
→HDMI、RGB 接続へ変換する機材を事前に準備しておく。
- 他大学交流会
- ・他大学の人とは初対面同士で話しにくかった。
→議事録の担当者が話を回す等して、事前にグループ内の司会を決めておく。
→自己紹介の時間を設ける。
→具体的な議論にするために、今後はもっとトークテーマを絞る。
→他大学とそれぞれの団体の課題について事前に共有する。
 - ・発表者を決めるのに時間がかかった。
→事前に発表者を決めてもらう。

感想

全体的に時間がおしてしまったという問題はあったものの、コミュニティの代表者や交流会メンバーを中心に、臨機応変に対応できたと思う。活動報告では、他大学の団体の雰囲気、実際の活動、運営の仕方など、詳しく知ることができた。その中で良いと思ったことはピア・コミュニティでも積極的に取り入れていきたいと感じた。

また、交流会では、グループによって、討議の盛り上がりにより多少の差はあったものの、時間が少ない中でも、有意義な意見交換ができたと思う。他大学の方々のはっきりと自身の意見を言う姿や話の回し方などには、とても感心した。

今回、他大学との交流によって新たに気づいた点や反省点を明確にし、今後の活動に活かしていきたい。

活動の様子

